

溶融性ベースプレート

メルトベースプレートハードタイプ

まずは人工歯排列試適からお試ください。

メルトベースプレートハードタイプの特徴

- 1.脱口時にパラフィンワックスと同様に溶ける溶融性があります。
- 2.パラフィンワックスと同様の操作性があります。
- 3.即時重合レジンが接着しますので、クラスプ等維持装置の固定が可能。

| 項目 | パラフィンワックス | メルトベースプレートハードタイプ |
|----------------|-----------|------------------|
| 破壊荷重試験(37 温水中) | 1.1N | 11.5N |
| 曲げ弾性率(室温) | 9.9MPa | 38.5MPa |
| 融点 | 58 | 66 |
| 軟化温度/時間 | — | 58 前後/30秒 |

1.軟化方法

58 前後の温水に30秒程度入れることにより、プレート全体が白っぽくなり均一に軟化します。

温水が保温できる保温器を使用することで軟化状態を維持することもできます。



【注意点】

軟化する温度が低い(軟化不足)場合、圧接時に裂けたり、割れたりする原因となります。また、温度が高過ぎると溶けて分解することがあります。軟化温度には注意してください。

2.圧接方法

メルトベースプレートハードタイプの圧接は、上から押し当てるように圧接してください。

温水軟化の場合、基本的に分離材は必要ありませんが、アンダーカットのリリーフ材料に応じて模型には分離材を塗布してください。



メルトベースプレートハードタイプが軟化している間に、加熱したナイフ等で成型します。

メルトベースプレートハードタイプが硬化するとナイフ等で切り辛くなります。その際は、ハンドタッチに必要な部分を軟化してから成型してください。弊社の「ワックスマスター」を使用すると簡単に作業ができます。

成型後、辺縁の調整は加熱したインツルメントで行います。

成型が終わったメルトベースプレートハードタイプの表面を軽くハンドタッチをあてて艶出し処理を行います。

【注意点】

メルトベースプレートハードタイプはプレート状の時より、軟化圧接後の方が更に固くなります。必ず圧接とハンドタッチによる艶出し処理を行ってください。

3.部分床義歯の圧接(ワンピースキャスト鉤)

模型上に「1.軟化方法」「2.圧接方法」の通りにメルトベースプレートハードタイプを圧接、成型します。

ワンピースキャストのフレームをパーナー等で加熱し、メルトベースプレートハードタイプの上から適合させます。

4.部分床義歯の圧接(セパレート/単鉤)

模型上に「1.軟化方法」「2.圧接方法」の通りにメルトベースプレートハードタイプを圧接、成型します。

セパレート鉤をパーナー等で加熱し、メルトベースプレートハードタイプの上から適合させます。



セパレート鉤及びバーを即時重合レジン「イソファスト」でメルトベースプレートハードタイプに接着させます。



即時重合レジン
(イソファスト)

【注意点】

即時重合レジンの築盛前にメルトベースプレートハードタイプに即時重合レジンの液を塗らないでください。接着力が落ちる場合があります。即時重合レジンの盛り付け面積は大きいほど接着力が高くなります。

重合の際に使用した「イソファスト」と同色の弊社レジンを使用すると即時重合レジンの色調と馴染みます。



5.残ったメルトベースプレートハードタイプについて

メルトベースプレートハードタイプは完全に溶かして使用すると固く伸びの無い物性となります。

成型後カットして残った本品は溶かさず、部分床用や補強材、咬合器マウント時の模型固定などにお使いください。

